



遠隔の丘

由利本荘市立子吉小学校
学校だより
第 16 号
令和6年9月25日

「7月保護者アンケートから -PART3-」 ~ご意見や提言について~

これまでの2回に引き続き、今回はアンケートから、ご意見や提言について記述していただいた内容をお知らせいたします。

今後、内容を精査した上で、改善に向けて検討し、学校運営に反映させていきたいと考えております。アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校運営について

○昔とは親の勤務体系や関係性も変わっていることから、事前申請で平日に何日か休むことができる取り組みができれば、子どもとのふれあいも増えるのではないかと。(愛知県や茨城県で行っているラーテーションの取り組み)

※平日のお休みに関しては家庭の事情ですので、登校を強要し無理に出席を促すことは致しません。欠席の連絡をしていただければお休みされても構いません。ただし、事故欠扱いになることはご了承ください。

○親としても、できるだけ子どもたちをサポートしていきたいので、学校行事にも可能な限り参加したいと思う。しかしながら下校する子どもを送らなければならず、PTAの学級懇談になかなか参加できない。その日だけ、理科室待機を認めていただくことはできないだろうか。学校から遠い町内は、そのような人が結構いるのではないかと。

※PTA学年懇談の際の児童待機についてのご事情は重々承知しておりますが、待機している子どもたちをケアする職員がおらず、不測の事態に対応できかねるという理由で、児童の待機を許可していません。できるだけ集団下校で帰宅するか、学童を利用していただければ幸いです。

○感染症予防に関しては、春夏の暑い日や給食中のマスク、喋らないで食べる等、配慮し過ぎて逆に弊害がないようにしてほしい。

※新型コロナウイルスが5類に移行した5月以来、感染症対策は強要していません。ただし、コロナも含めて感染症の拡大傾向が見られましたので、熱中症に留意しながらマスクの着用を指示しました。感染症拡大防止策としてご理解ください。

生徒指導について

○クマ鈴などは校外指導部会で部会費に余裕があるのであれば配布してもいいのではないかと。

※PTA予算でクマ鈴を購入できないか模索しておりましたが、他校でも同じような要望があり、市教育委員会として市内の全小中学校児童生徒に段階的にクマ鈴を貸与していただくことが決定しました。

○統合する本荘東小学校でも集団登下校してもらえればいいのではないかと考えています。

※集団登下校については、子吉地区だけというわけにはいかず、またメリット・デメリットもありますので本荘東小学校統合に向けた準備委員会の中で協議いたします。ただし、登下校の方法については、学校が定めるものではなく、原則では保護者や町内で運営することになっております。

教育活動について

○月一でもいいので、宿題がない日と言う特別な日もあったらいいなと思います。

※家庭学習は、基本的には月曜日から土曜日の分しか出しておらず、日曜日は家庭学習や宿題のない日となっております。スポ少や家庭の行事に合わせて金曜日のうちに済ませるなど、計画的に取り組んでもらえれば幸いです。

施設面について

○2年生は人数が多いのに、教室が狭いと感じます。

※教室割は、学年の実態、安全面、人数を考慮して振り分けた結果ですので、ご理解ください。

指導主事教科等訪問

9月19日(木)に、中央教育事務所の澤木美穂子指導主事、同由利出張所の熊谷亜希子指導主事をお招きし、今年度2回目の研究会となる教科等訪問が行われました。

2時間目に一般授業参観として、1年生の算数科、3組の算数科、3年生の算数科、4年の道徳科、2組の図工科、6年生の道徳科の授業を一巡していただきました。

その後、特定授業として、3時間目に2年生の音楽科の授業を提示しました。「いるかはざんぶらこ」という3拍子の歌に合わせて、子どもたちが打楽器でリズム打ちをするという学習でした。音色や叩き方を試しながら、楽しく音楽の学習に取り組む様子が見られました。

4時間目の5年生の国語科では、「廊下のマナーを改善するために」という共通の目的に対し各自が考えた改善策を、グループで話し合いながら絞り込むという活動を行いました。「話す・聞く」という子どもたちが苦手とする領域の授業提示でしたが、目的意識をもって一生懸命話し合いに取り組む5年生の姿が印象的でした。

研究協議会では、子どもたちに負けないくらい先生たちも熱心に協議し、たくさんの指導助言をいただきました。今回の研究授業で研修した内容を、今後の授業改善に生かしていきたいと思っております。



秋田県庁長寿社会課出前講座 「カイゴってカッコイイ！」

9月20日(金)に、秋田県庁長寿社会課から6名の方が本校を訪れ、6年生を対象に「長寿社会課出前講座」を開催していただきました。介護のイメージアップと将来の担い手の確保を目的として出前講座を開催しており、今年子吉小が選ばれました。

はじめに秋田市の介護施設で働く若い介護士の方からお話を聞きました。「介護士の仕事は、『困っている人の生活を守る仕事』であり、『一人一人の思いに寄り添うこと』を心掛けています。だから、『カイゴってカッコイイ仕事なんだよ』という言葉が、6年生の子どもたちにも響いたようです。

その後、関節が曲がらないサポーターを付けたリ、視界が白内障のように見えるメガネをかけたりして高齢者の擬似体験をしました。歩行器や車イス等を使って、実際の介護の体験も行いました。

子どもたちからは、「介護の仕事の大切さについて分かった」「困った人を助ける仕事がしたい」といった感想が多数ありました。6年生はキャリア教育として、自分の将来を見通して、様々な職業について調べたりする活動を行っており、この出前講座はとても有意義なものになりました。長寿社会課の皆さま、ありがとうございました。



児童の感想から（一部抜粋）

段差では、足で少し押してやること、下るときは少し車いすを上げてゆっくり下すことなど、一つ一つの行動に優しさがあったすごいなと思いました。また、声掛けが大切という事が分かりました。【工藤 ○○】

この介護体験で、高齢者には優しく接して無理をさせずに車いすで移動させたり、ご飯を食べさせたりすることが分かりました。そして、少しでも楽にさせたいです。【小番 ○○】

功績の紹介

よく頑張りました！

9 / 15 第22回 JA 共済学童野球大会

準優勝 本荘東 Jr 野球スポーツ少年団

9 / 16 象潟奥の細道少年剣道大会

小学5年男子個人 第3位 金子 ○○

